

学校教育高度化・効果検証センター研究紀要

執筆要項

2025年6月改訂

本要項について

本要項は、学校教育高度化・効果検証センター研究紀要に掲載する研究論文およびワーキングペーパーの執筆・提出に関する事項を定めるものです。執筆にあたっては、以下の内容を確認のうえ、所定の形式に沿って原稿を作成してください。

1. 掲載対象および未発表要件

- 本研究紀要に掲載する論文等の内容は、学校教育の高度化に関係するものとする。
- 掲載する論文等は、未発表のものに限る。

2. 使用言語

論文等の使用言語は、日本語または英語とする。

3. 原稿の種類および分量

本研究紀要が掲載する論文等の原稿枚数・語数は、次のとおりとする。ただし、依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。

原稿種別	日本語原稿	英語原稿
研究論文	20枚以内	5,000 words 以内
ワーキングペーパー	15枚以内	3,500 words 以内

上記の枚数・語数には、本文のほか、タイトル、注記 (Notes)、参考文献 (References)、図表等を含む。ただし、付録 (Appendix) は含まない。

4. 執筆資格

本研究紀要に論文等を執筆できる者は、本学教員、大学院学生および協力研究員（「東京大学教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センターの組織と運営に関する申し合わせ」参照）とする。

上記以外の者については、本学教員または協力研究員が共著者となっている場合、第一著者または第二著者以下として執筆することができる。

5. 日本語原稿の書式

研究論文およびワーキングペーパーを日本語で執筆する場合の書式は、次のとおりとする。

5.1 基本設定

項目	指定内容
用紙	B5 判・縦
余白	上下 25.4 mm、左右 19 mm
本文	9 ポイント、2 段組み、21 字×35 行
フォント	日本語：MS 明朝／英語：Times New Roman

5.2 1 ページ目の記載事項

1 ページ目には、次の順に 1 段組みで記載する。

順序	記載事項	書式・配置
1	題目（日本語）	主題：14 ポイント／副題：12 ポイント。MS ゴシック。中央揃え。
2	執筆者名（日本語）	9 ポイント。右揃え。
3	題目（英語）	主題：12 ポイント／副題：10.5 ポイント。中央揃え。
4	執筆者名（英語）	10 ポイント。中央揃え。
5	Author's Note	1 段組みで記載する。左揃え。

5.3 2 ページ目の記載事項

項目	指定内容
要旨	英語で 150-250 words 程度。
キーワード	英語で 5 語以内。
ページ設定	1 段組み、48 文字×35 行。
要旨下部小見出し	“Keywords”はイタリック体で記載する。

5.4 3 ページ目以降の本文

3 ページ目には、題目および副題目を 1 段組み・中央揃えで記載し、1 行あけて本文を 2 段組みで開始する。

項目	指定内容
題目	MS ゴシック、1 段組み、中央揃え、12 ポイント。
副題目	MS ゴシック、1 段組み、中央揃え、9 ポイント。
本文	1 行空けて 2 段組みで開始する。

5.5 見出し・本文表記

- 本文には、適宜、小見出しを付ける。
- 章・節・項の表記は、1, 2, 3, ..., 1.1, 1.2, 1.3, ..., 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, ... とする。
- 章、節、項などの小見出しは、MS ゴシック・9 ポイント・中央揃えとする。冒頭の英数字はすべて半角とする。
- 句読点は、「、」および「。」に統一する。
- 本文中の英数字は半角を用いる。

5.6 図表

- 図表は、「図 1」「表 1」などのように表記し、通し番号を付ける。
- 図表番号は、図の場合は下、表の場合は上に付ける。
- 図表番号のフォントは、MS ゴシック・9 ポイントとする。
- 図や表を転記する場合には、著者の責任において、原著者および著作権を有する出版社等から必要な許可を得ること。

5.7 注・引用文献・参考文献

- 注はページ脚注とせず、本文の該当箇所に上付きで(1) (2) ... などと表記し、原稿末にまとめて列記する。
- 原稿末の注は、引用文献より前に記載する。注番号は上付きにせず、(1), (2) のように表記する。
- 引用文献はページ脚注とせず、原稿末にまとめて列記する。
- 参考文献の書き方については、原則として APA スタイルを参照し、以下の例に従う。
- 原稿末の「注」「引用文献」の小見出しは、MS ゴシック・9 ポイント・左揃えとする。

種別	記載例
単行本（编者あり）	著者（発行年）「題目」编者名『書名』出版社，頁。
雑誌論文	著者（発行年）「題目」『雑誌名』巻号，頁。
学会発表等	発表者（発表年）「題目」第 X 回 X 学会（場所，日にち）発表。
URL	題目 [http://xxx]（accessed on Month Date, Year）

6. 英語原稿の書式

研究論文およびワーキングペーパーを英語で執筆する場合の書式は、次のとおりとする。
具体例はサンプルを参照することを。

6.1 基本設定

項目	指定内容
用紙	B5 判・縦
余白	上下 25.4 mm、左右 19 mm
本文	9 ポイント、2 段組み、21 字×35 行
行間	シングルスペース
フォント	Times New Roman

6.2 1 ページ目の記載事項

1 ページ目には、次の順に 1 段組みで記載する。

順序	記載事項	書式・配置
1	Title	14 ポイント。中央揃え。
2	Subtitle	12 ポイント。中央揃え。
3	Author's name(s)	10 ポイント。中央揃え。
4	Author's Note	1 段組みで記載する。

6.3 2 ページ目の記載事項

項目	指定内容
Abstract	150-250 words 程度。
Keywords	5 語以内。
ページ設定	1 段組み、48 文字×35 行。
要旨下部小見出し	“Keywords”はイタリック体で記載する。

6.4 3 ページ目以降の本文

3 ページ目には、タイトルおよび副タイトルを 1 段組み・中央揃えで記載し、1 行あけて本文を 2 段組みで開始する。

項目	指定内容
Title	Times New Roman、中央揃え、14 ポイント。
Subtitle	Times New Roman、中央揃え、12 ポイント。
本文	2 段組みで開始する。

6.5 見出し・本文表記

- 本文には、適宜、小見出しを付ける。
- 章・節・項の表記は、1, 2, 3, …、1.1, 1.2, 1.3, …、1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, … とする。
- 章、節、項などの小見出しは中央揃えとする。

6.6 図表

- 図表は、「Table 1」「Figure 1」などのように表記し、通し番号を付ける。
- 図表番号は、Table・Figure とともに上に付ける。
- 図や表を転記する場合には、著者の責任において、原著者および著作権を有する出版社等から必要な許可を得ること。

6.7 Notes・References

- Notes はページ脚注とせず、本文の該当箇所に上付きで(1) (2) ... などと表記し、原稿末にまとめて列記する。
- 原稿末の Notes は、References より前に記載する。番号は上付きにせず、(1) , (2) のように表記する。
- 原稿末の Notes および References の小見出しは左揃えとする。
- References の書き方は、原則として APA スタイルを参照する。

7. 東京大学学術機関リポジトリへの登録

提出された論文等は、原則として東京大学学術機関リポジトリ (UTokyo Repository) に掲載される。あらかじめ了承のうえ、「研究紀要掲載論文・ワーキングペーパー電子的公開許諾書」に必要事項を記入し、原稿とあわせて提出すること。

掲載を希望しない場合は、学校教育高度化・効果検証センターまで連絡すること。

東京大学学術機関リポジトリ (UTokyo Repository) について

東京大学で生産された、さまざまな研究成果 (紀要等) を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点である。

URL : <https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

8. 提出物および提出方法

執筆希望者は、学校教育高度化・効果検証センターに次の書類を提出する。

提出物	提出形式
原稿	電子ファイル
研究紀要掲載論文・ワーキングペーパー電子的公開許諾書	必要事項を記入のうえ提出

9. 問い合わせ先

東京大学大学院教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL/FAX : 03-5841-3948/1818

E-mail : c-kodoka@p.u-tokyo.ac.jp